



下里中だより

令和 7年 6月 20日
東久留米市立下里中学校

教育目標 ・知性を高めよう ・心身を鍛えよう ・広く思いやろう

『一心不乱』

体育的行事委員長 浅田 武

第48回運動会を予定通りに終わることができました。たくさんの保護者の方にも参観いただき、ありがとうございました。

昨年度は昨今の気温の上昇と安全面を考慮して、1500m走、800m走、60mハードル走を無くしました。また、今年度は校庭の整備により力を入れ、埃対策として校庭の大部分に塩化カルシウムを撒いたり、レイキをかけて石の除去を行ったりして、練習や本番が安全に行えるような対策をとりました。

4月後半から3年生は、新しく4組分のムカデロープの作成を学年全員で作りました。ライバルながら、実行委員というチームワークは素晴らしいと思いました。また、今年から大ムカデは、女子と男子のリレー形式に変えました。男子にタスキを渡した後、女子が男子に伴走する姿は一体感を感じさせる素晴らしい光景でした。

全体の練習では、全校練習から運動会練習が始まり、学年練習と進んでいく中、練習の際にかける実行委員の声も大きくしっかりしたものとなりました。前日の雨の影響で予行、前日の風の影響で当日も朝早くからの準備となりましたが、委員会・部活動を中心にテキパキと動き、予定通りに行うことができました。片付けに関しても、ボランティアに助けられ、早く終わらせることができました。

様々な場面で、「みんなで創り上げた運動会」でした。競技の中でも、色々なドラマやアクシデントがありましたが、今回の運動会で得た、一人一人の喜び、悔しさ、人とのつながりを今後の学校生活に活かしてもらいたいと思います。

クラス旗コンクール

優勝 (左から) 1年1組 2年2組 3年1組



《保護者の皆様》 運動会へのご協力をありがとうございました。

右記の二次元コードから、ご意見等をお寄せください。 → →





入場行進



選手宣誓



係の仕事



1年ハイパーサイクロン



2年集団エッホ



3年大ムカデ

◎「新国立劇場合唱団の皆さんと歌唱を学ぶ」 ～文化庁主催 芸術体験プログラム～

5月26日(月)ワークショップを経て、6月16日(月)3・4校時に、指揮者、ピアニスト、声楽家、計32名の演奏者がいらしての本公演が行われました。日本の歌、世界の歌、オペラの鑑賞の後、全員で校歌の合同演奏をしました。会場の全員が、声が重なっていく楽しさを感じながら歌っているように見えました。

生徒代表の言葉

本日はお忙しい中、我々のために公演を開いていただきありがとうございました。

公演では男性パートと女性パートの声の重なりが印象的でした。低く力強い男性パートと華々しい女性パートとのハーモニーに感動しました。また、ほとんどの人はオペラの存在は知っていても、実際に見たことはない人が多いと思うので、今日の公演は本当に貴重な経験になりました。

今日の皆さんの歌声をお手本にしたり、先日のワークショップで学んだことを意識したりして、これからの音楽の授業や合唱コンクールに臨みたいと思います。本当にありがとうございました。

